

旭川市科学館報

Vol. 6

平成26(2014)年

目 次

運営組織及び職員数	1
I 旭川市科学館の概要	
1 考え方	2
2 概要	2
3 沿革	2
4 施設の詳細	3～4
II 平成25年度事業活動報告	
1 利用状況	5
2 常設展示事業	6
3 特別展示事業	7～8
4 実験実習事業	9～14
5 天文普及事業	15～19
6 学校連携事業	20～21
7 共催事業	21
8 その他科学館で開催された主な催事など	21
9 情報提供活動	22
10 広報活動	22
III サイエンスボランティア旭川の活動	
1 概 要	23
2 平成25年度従事者数	23
3 活動の内容	23～25
IV 旭川市科学館利用案内	
1 観 覧 料	26
2 開 館 日 等	27

運営組織及び職員数（平成26年4月1日現在）

館長	科学館協議会	(任期：平成26年7月1日～平成28年6月30日)
(1名)	(10名)	
副館長	科学館施設設備管理担当	
(1名)		
主査	地学（地質）、プラネタリウム・生物、科学館常設展示・運営管理担当	
(3名)		
主任	プラネタリウム、天文、電子工作、理科実験	
(4名)		
係員	理科・庶務担当、電子工作	
(2名)		
嘱託職員	レファレンスルーム運営管理、理科実験指導、パソコン教室、木工模型工作	
(12名)	指導、天文観測指導、プラネタリウム解説、団体観覧受付	
臨時職員	事務補助・団体観覧受付	
(2名)		

科学館職員 計25名

I 旭川市科学館の概要

1 考え方

旭川市科学館「サイパル」は、子どもたちをはじめ多様な方々に、様々な科学に関する情報を伝え、関心を高め、科学への理解を深めることを目的としています。

これまで、旭川市青少年科学館では物理・化学・天文などの分野を主な事業活動の対象としてきましたが、環境問題など新たな課題に対応するため、個々の科学分野を超えて横断的・学際的な取組が求められている今日、学習普及活動においても分野にとらわれない柔軟な取組が必要です。

このため、旭川市科学館では、物理学，化学，生物学，地学など、あらゆる自然科学分野を対象として、多彩な活動を進めていきます。

2 概要

サイパルの位置する「北彩都あさひかわ」シビックコア地区には、科学館に隣接して旭川市障害者福祉センター「おびった」、旭川市市民活動交流センター「CoCoDe」、国の合同庁舎が建っています。

敷地内には、鳥や昆虫などが観察できる野外自然観察空間も設けられています。神楽岡公園や忠別川河畔林などの豊かな自然に囲まれ、のびのびとした空間で自然科学を学ぶことができるのも大きな特徴です。

また、多くの方々に御利用いただく常設展示室や特別展示室、プラネタリウムなどを1階に、実験実習室などを2階にそれぞれ配置し、子どもから高齢者、ハンディキャップを持つ方々など、誰もが使いやすいようユニバーサルデザインの考え方を取り入れました。

駐車場の排雪を利用した雪冷房システムの導入など環境にも配慮し、人と環境に優しい科学館に生まれ変わりました。科学の不思議さを表現したシンボル展示、「国際家具デザインフェア旭川」コンペティション入選作品など美しい地場木製家具を配置し、特色ある空間づくりにも配慮しました。

3 沿革

昭和38年11月3日	旭川市青少年科学館が旭川市常磐公園に開館
平成17年1月30日	新築移転のため閉館
平成17年7月23日	旭川市科学館「サイパル」として現在地に開館
平成17年8月13日	入館者10万人を達成
平成18年5月4日	入館者50万人を達成
平成19年8月10日	入館者100万人を達成
平成23年3月13日	入館者200万人を達成



旭川市科学館外観

4 施設の詳細

(1) 旭川市科学館

- ・所在地 旭川市宮前1条3丁目3番32号
- ・敷地面積 27,099.65㎡
- ・延床面積 5,799.60㎡（車庫棟・雪室棟を除く）
 - 〔内訳〕 ○常設・特別展示室，サイエンスシアター 約1,780㎡
 - プラネタリウム 約 375㎡
 - 天文台 約 90㎡
 - 実験実習室ほか 約 655㎡
 - 共用・管理運営関係 約2,900㎡
- ・構造 鉄筋コンクリート造，一部プレストレストコンクリート造及び鉄骨造，4階建
- ・総事業費 48億1,432万3千円（用地購入費，一部外構工事等除く）

(2) 各室の内訳

1階	常設展示室(サイエンスシアター含む)	約1,600㎡，(3)常設展示室詳細参照
	特別展示室	約180㎡，各種の特別展を開催
	プラネタリウム	(5)プラネタリウム詳細参照
	学習室・研修室	約150㎡，126席，視聴覚機器付設
	エントランスホール	観覧受付，シンボル展示，休憩コーナー等
	情報コーナー	バーチャル科学館案内，科学クイズ，サイエンスライブラリー等の機能
	ミュージアムショップ	各種の科学グッズの販売
	事務室ほか	
2階	パソコン実習室	パソコンを使った学習など
	電子工作室	電子機械工作などの実習
	理科実験室・準備室	物理・化学などの実験実習
	木工模型工作室・作業・準備室	木工・模型工作実習など
	レファレンスルーム・準備室	生物・地学などの観察実習，各種資料による自主研究に開放
	休憩コーナー	南東・北西の角に設置（2か所）
3階	機械室など	※一般開放スペースはない
4階	天文台（2基），観測デッキ等	(4)天文台詳細参照
屋外	駐車場・駐輪場	一般車両76台，大型バス6台，身障者用駐車場5台，自転車100台
	エントランス広場，円形広場	休憩・昼食場所，野外での実験実習スペース
	野外自然観察空間	約5,000㎡，在来種の雑木林，トンボ池，野外展示2基など自然観察スペースに活用

(3) 常設展示室詳細

Ⅱ 平成25年度事業活動報告 2 常設展示事業を参照

(4)天文台詳細

- ・位 置：北緯43度45分23秒 東経142度22分13秒 標高143m
- ・面 積：173㎡(うち大天文台50㎡，小天文台19㎡，観測デッキ82㎡)
- ・大天文台：ドーム直径8m，口径65cm カセグレン式反射望遠鏡（三鷹光器製）及び付属望遠鏡2基設置，光電測光装置・バリアフリー接眼装置付設，コンピュータコントロール方式，遠隔操作・観測画像配信システム
- ・小天文台：ドーム直径5m，口径20cm 屈折望遠鏡（三鷹光器製）及び太陽ビデオ撮影機能付属望遠鏡2基設置，太陽投影板・太陽用H α フィルター・太陽用ビデオカメラ・バリアフリー接眼装置付設，コンピュータコントロール方式，遠隔操作・観測画像配信システム
- ・観測デッキ：口径10cmの移動式天体望遠鏡や双眼鏡を使って広範囲の星空を観察。

(5)プラネタリウム詳細

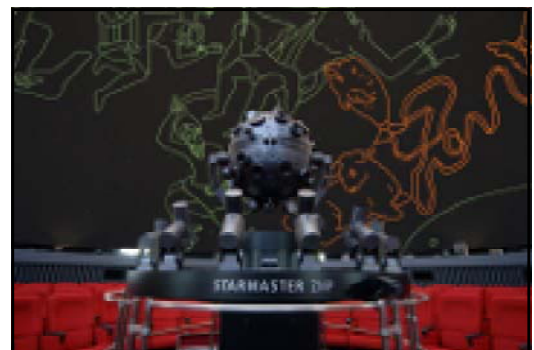
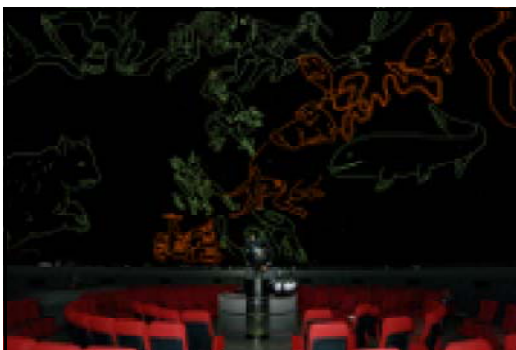
- ・面 積：670㎡(客室232㎡，プロジェクションギャラリー112㎡，ロビー228㎡，その他98㎡)
- ・ドーム：直径18m，水平型・平面床，170席（うち2人掛け椅子5脚，通常時同心円配列・映像投影一部回転式）
- ・投影機：カール・ツァイス社製スターマスターZMP（コンピュータ制御，光源・光ファイバー式），全天周ドーム映像装置など付設
- ・特 徴：生解説によるマニュアル投影，我が国初のデジタル操作式カール・ツァイス社製投影機の導入，全国で初めて回転可動式座席を導入。



天 文 台



大型望遠鏡



プラネタリウム

Ⅱ 平成25年度事業活動報告

1 利用状況

内訳 月	常設 展示室	プラネタリウム	天文台	事業活動等参加者		その他	合計	平成24年度
					(うち特別展分)			
4	10,091	4,885	1,074	3,825	—————	73	19,948	19,090
5	14,112	7,021	2,298	8,897		98	32,426	28,363
6	8,535	4,636	1,124	2,621		127	17,043	17,337
7	12,685	6,339	1,735	5,082	(3,097)	18	25,859	27,696
8	23,457	12,543	4,364	11,001	(8,902)	45	51,410	51,798
9	11,578	6,682	1,353	6,305	(4,317)	37	25,955	26,466
10	8,849	4,971	1,467	3,201	—————	1,071	19,559	17,526
11	10,532	4,661	1,182	5,744	—————	35	22,154	16,779
12	5,122	2,772	444	1,454	—————	190	9,982	7,575
1	4,996	2,581	365	6,389	—————	1,058	15,389	19,777
2	3,416	1,732	333	1,311	—————	375	7,167	8,635
3	7,504	3,833	928	2,100	—————	109	14,474	13,513
合計	120,877	62,656	16,667	57,930	(16,316)	3,236	261,366	254,555

※平成25年度の1日平均入館者数：814.2人／日（開館日：321日）

最近10年間の科学館入館者数一覧（平成15年度～平成24年度：延べ人数）

※平成16年度までは旭川市青少年科学館での実績

年度	常設展示室	プラネタリウム	天文台	各種事業他	計	備 考
H15	51,841	17,958	2,317	31,179	103,295	平成16年度まで観覧料無料
H16	36,180	16,485	1,433	19,193	73,291	1月30日で旧館閉館
H17	220,713	107,732	70,108	40,925	439,478	7月23日より新館開館
H18	192,260	104,459	43,808	101,728	442,255	
H19	136,193	74,488	26,960	43,523	281,164	
H20	125,692	67,265	34,243	57,516	284,716	
H21	117,179	60,690	24,274	63,340	265,483	
H22	130,229	64,828	19,087	84,896	299,040	6月～9月原則無休開館
H23	131,268	66,611	15,576	78,600	292,055	
H24	115,940	60,930	13,959	63,726	254,555	

※特別展入場者数は各種事業他に含まれるが、H17に限り常設展示室に含まれる。



常設展示室

2 常設展示事業

北国・地球・宇宙の3つをテーマとした全46点の体験型の科学模型、キッズコーナー、科学に関する2D・3D映像を上映するサイエンスシアターを展示。

コーナー	展 示 名	
北国	北国の動物はなぜ大きい？／氷河期と海面変位／虫の目から見た自然／雪の結晶／ナダレンジャー／北国の天気／旭川ズームイン！／水滴のダンス／低温実験室 全9点	
地球	身体ズームイン／内蔵パズル／呼吸のしくみ／人体スキャン／消化器のはたらき／表情の不思議／生命の誕生／風を起こそう／ロボットサッカー／ボールコースター／電磁サークル／スケスケマシーン／手さぐりの通路／錯覚の部屋／光のサッカー／ジャンボシャボン／空中スクリーン／光の三原色／影であそぼう／バーチャルフライト／スピードガン／ボディーアタック／地震体験／火山をつくろう／雲をつくろう／対流をみよう／人類の進化／環境問題クイズ／燃料電池／温暖化から地球を救え／大陸移動 全31点及びキッズコーナー	
宇宙	ムーンジャンプ／宇宙ゴマ／月の満ち欠け／星の回転運動／宇宙旅行／クイズスペース1 全6点	
サイエンスシアター	3D	北国 雪の結晶／大雪山の成り立ち／エゾモモンガ
		地球 巨大台風／オーロラ その神秘に迫る／氷河と地球温暖化
		宇宙 宇宙ステーション／毛利さんと飛ぶ宇宙から見た水の惑星／暗黒の世界 ブラックホール
	2D	北国 石狩川夢の旅人
		地球 謎の深海底
		宇宙 テラフォーミング～地球から火星へ～

常設展示室観覧者数(平成25年4月～平成26年3月)単位：人

月/区分	個 人					団 体 (団体料金適用者)					人数合計
	大人	高校生	小人	その他	小計	大人	高校生	小人	その他	小計	
4	4,626	46	4,771	232	9,675	0	154	30	232	416	10,091
5	5,870	62	5,225	375	11,532	102	213	1,766	499	2,580	14,112
6	2,463	42	2,606	208	5,319	304	358	1,958	596	3,216	8,535
7	4,071	97	4,455	386	9,009	93	64	2,796	723	3,676	12,685
8	9,707	179	10,309	769	20,964	115	2	1,667	709	2,493	23,457
9	4,295	56	4,032	296	8,679	97	70	1,995	737	2,899	11,578
10	3,125	34	3,294	251	6,704	55	141	1,278	671	2,145	8,849
11	4,632	24	4,657	261	9,574	116	0	447	395	958	10,532
12	1,945	26	2,121	194	4,286	25	0	713	98	836	5,122
1	2,136	28	2,280	239	4,683	0	0	214	99	313	4,996
2	1,586	30	1,309	143	3,068	0	96	143	109	348	3,416
3	3,368	82	3,404	232	7,086	84	0	172	162	418	7,504
年度合計	47,824	706	48,463	3,586	100,579	991	1,098	13,179	5,030	20,298	120,877

※「その他」は観覧免除者(身体障害者・70歳以上・引率者・介護者・行政視察等)

3 特別展示事業

(1)夏休み特別展「飛ぶ科学！ 空と宇宙への挑戦」

ア 展示

実施期間	平成25年7月13日～9月16日（開催期間66日間）
観覧者数	16,316人
内 容	人類が現在の飛行機を発明するまでの科学技術の発展の歴史を解説するとともに、飛行機・ロケット・宇宙機の構造や、飛行の原理について大型模型や体験型装置などや、飛行機の着陸を体験できるフライトシミュレーターや宇宙飛行士の選抜試験体験コーナーも設置した。また、期間中には飛行機や宇宙にちなんだワークショップやサイエンスショーなどの関連事業も実施した。

イ 関連事業

・セレモニー

内 容	会 場	参加者数	開催日
オープニングセレモニー	特別展示室前	22人	7月13日
入場者1万人達成セレモニー	特別展示室前	未集計	8月21日

・スカイワークショップ

内 容	対 象	参加者数	開催日
ふわふわグライダー	どなたでも	771人	8月3日, 4日 13日, 15日～17日, 9月16日
飛ぶのりものメモホルダー		521人	8月18日, 24日, 25日, 9月14日, 15日
紙ジャイロ		65人	9月7日
気球のすな絵		276人	9月8日, 14日, 15日

・飛ぶおもちゃ手作り工房

内 容	対 象	参加者数	開催日
本格紙飛行機	小中学生	43人	7月20日, 21日, 9月8日
竹とんぼ		16人	7月20日, 21日
ぐにゃぐにゃ凧		16人	9月7日

・展示ガイドミニツアー

内 容	対 象	参加者数	開催日
職員による展示解説ツアー	どなたでも	134人	7月20日, 21日, 8月10日, 11日

・ふしぎヒコーキサイエンスショー

内 容	対 象	参加者数	開催日
飯島実氏による飛行物体の観覧ショーと工作体験	どなたでも	150人	7月27日, 28日

・飛行船フィッシュデモフライト&プチ操作体験

内 容	対 象	参加者数	開催日
空中を泳ぐラジコン魚の操作体験	どなたでも	125人	7月30日, 8月31日, 9月16日

・空撮ヘリコプターデモフライト

内 容	対 象	参加者数	開催日
空撮無人ヘリのデモフライトと記念撮影	どなたでも	161人	9月1日



飛ぶ科学！ 空と宇宙への挑戦



飛ぶ科学！ 空と宇宙への挑戦



飛ぶ科学！ 空と宇宙への挑戦



飛ぶ科学！ 空と宇宙への挑戦

(2)巡回展「光の謎を解き明かせ」展

ア 展示

実施期間	平成25年11月12日～12月23日
参加者数	8,659人（常設展示室観覧者数に含む）
内 容	12種類の大型実験装置によって、光の基本的な性質を学習しながら、光を利用した様々な現象を体験できる巡回展。 共催：公益財団法人 日本科学協会

4 実験実習事業（主な物を掲載）

(1) 体験教室・講座

ア 科学館クラブ（前・後期）

	クラブ名	内 容	対 象	定 員	延べ人数	開催日
前 期	星・宇宙	望遠鏡の使い方と観測方法 や季節の星座の解説	小学3年～ 中学生の親子	10組	103人	5月～9月 (5回)
	理科(木)	10テーマの実験や観察	小学4年～ 5年生	20人	87人	5月～8月 又は9月 (各10回)
	理科(日)			20人	156人	
	科学工作(木)	オルゴール付きカード入れ の製作		16人	100人	
	科学工作(土)			16人	146人	
	パソコン	パソコンの使い方, 利用方法		16人	130人	
実験工作	理科実験と木工作	小学6年～ 中学生		20人	128人	
後 期	星・宇宙	望遠鏡の使い方と観測方法 や季節の星座の解説	小学3年～ 中学生の親子	10組	88人	11月～翌3 月(5回)
	理科(木)	10テーマの実験や観察	小学4年～ 5年生	20人	66人	11月～翌2 月(各10回)
	理科(日)			20人	101人	
	科学工作(木)	LED調光ライトの製作		16人	110人	
	科学工作(土)			16人	138人	
	パソコン	パソコンの使い方, 利用方法		16人	134人	
実験工作	理科実験と電子工作	小学6年～ 中学生		20人	64人	
生き物・地球		生き物や岩石の観察など	小学5年～ 中学生	16人	82人	5月～翌2 月(15回)

イ 親と子の実験室（前・後期）

	内 容	対 象	定 員	延べ人数	開催日
前	親子で簡単な実験実習を体験 (全6回)	小学2～3年生の 親子	40組	432人	5月～9月
後			40組	444人	11月～翌2月

ウ 旭川少年少女発明クラブ

内 容	対 象	登録数	延べ人数	開催日
アイデア工作, 基礎工作, 科学 の夢絵画の制作など	小学3年～中学生	20人	338人	6月～翌3 月(18回)



科学館クラブ
(パソコン)



科学館クラブ
(パソコン)

エ サイエンスセミナー

回	内 容	参加者数	開催日
1	「火山噴火はどこまで分かったのか?…桜島大正噴火100周年に考える」 講師：岡田 弘名誉館長(北海道大学名誉教授)	23人	10月5日
2	「私たちの健康を支配する鞭毛と繊毛～その恐るべき役割」 講師：森澤 正昭顧問(東京大学名誉教授)	24人	10月14日
3	「江戸時代の人々～身体と暮らし」 講師：馬場 悠男顧問(国立科学博物館名誉研究員)	19人	10月20日
4	「アイソン彗星－崩壊した彗星の謎」 講師：渡部 潤一顧問(国立天文台副台長)	65人	3月2日

オ こども科学博士

回	内 容	対 象	定 員	延べ人数	開催日
1	浮沈子をつくろう	小学1～2年生の 親子	20組	30人	7月27日
2	生キャラメルとポップコーン		20組	20人	10月27日
3	スノーアイスクリームを作ろう		20組	14人	1月13日
4	パルプのひみつと紙漉き体験		10組	6人	3月2日

カ 理科実験マスター教室

回	内 容	対 象	定 員	延べ人数	開催日
1	紙コップマイクと落ち葉スピーカー	小学6年～中学生	10人	2人	8月6日
2	驚異の化学実験「色と炎」		10人	7人	1月16日

キ パソコン基礎講座

回	内 容	対 象	定 員	延べ人数	開催日
1	たのしくパソコン～パソコンの 使い方を習得し、生活に利用し よう。(全10回)	高齢者	10人	98人	6月～8月
2			10人	98人	8月～10月
3			10人	97人	1月～3月
4	特別講座「Word編」		10人	30人	11月7日 ～9日
5	特別講座「Excel編」		10人	29人	3月27日 ～29日



たのしくパソコン



たのしくパソコン

(2)ものづくり教室

ア 市民木工教室

回	内 容	対 象	定 員	延べ人数	開催日
1	鯉のぼりの製作	大人	16人	17人	5月3日
2	2段シェルフの製作		16人	45人	6月6日 ～8日
3	スプーンを作ろう		12人	12人	8月17日
4	小物入れの製作		18人	25人	9月7日, 8日
5	羽ばたく鳥のモビールの製作 (午前, 午後開催)		12人	23人	10月14日
6	コロッ・クルの振り子時計の製作		16人	48人	11月7日 ～9日
7	木のひな人形作り		16人	32人	2月22日, 23日

イ 親子で作る木の工作室

回	内 容	対 象	定 員	延べ人数	開催日
1	からくりおもちゃの製作 (各日午前, 午後開催)	小学生の親子	10組	36人	8月10日
2			10組	34人	8月11日
3			10組	34人	12月21日
4			10組	36人	12月23日

ウ デジタル工房

回	内 容	対 象	定 員	延べ人数	開催日
1	アラーム付き時計の製作	小学4年～中学生	10人	5人	7月27日
2	スクローラーの製作		10人	10人	8月7日
3	センサー付きデジタル時計の製作		10人	10人	12月26日
4	プログラミング・カーの製作		10人	10人	1月8日

エ 夏休み・冬休み自由工房

回	内 容	対 象	定 員	延べ人数	開催日
1	とんとん教室 (2回実施)	小学4年～中学生	10人	16人	7月30日
2	パソコンを活用しよう		10人	8人	8月2日
3	かんたん電子工作		10人	10人	8月9日
4	とんとん教室 (2回実施)		10人	17人	1月7日
5	かんたん電子工作		10人	9人	1月9日
6	パソコンを活用しよう		12人	12人	1月9日

オ 大人のための電子工作

回	内 容	対 象	定 員	延べ人数	開催日
1	手回し発電・多機能ラジオの製作	大人	10人	5人	5月12日
2	赤外線センサー・自動点灯ライトの製作（夜間）		10人	6人	6月15日
3	音センサーライト付アナログ時計の製作（夜間）		10人	4人	7月20日
4	LEDゆらぎランプの製作（夜間）		10人	5人	8月16日
5	12音色・ミニ電子ピアノの製作		10人	10人	10月6日
6	タッチスイッチ・LEDデスクスタンドの製作		10人	8人	11月17日
7	レトロなラヂヲの製作		10人	10人	2月16日

カ キッズ電子工作

回	内 容	対 象	定 員	延べ人数	開催日
1	FMラジオの製作	小学4年～中学生	10人	4人	5月6日
2	光センサー・カーの製作		10人	10人	7月15日
3	電子サイコロの製作		10人	7人	8月4日
4	ペットボトルソーラーカーの製作		10人	3人	8月13日
5	LEDライトの製作		10人	6人	12月23日
6	光るオルゴールごまの製作		10人	9人	12月28日
7	ソーラー時計の製作		10人	10人	1月13日

キ 春・夏・冬休みプチ実験工作室

回	内 容	対 象	定 員	延べ人数	開催日
1	虹スクリーンを作ろう	小・中学生 (小3以下は保護者同伴)	20人	20人	8月8日
	ミニ・ロケットを飛ばそう		20人	20人	
2	カンタン乾電池チェッカーを作ろう		20人	9人	1月7日
	雪の結晶万華鏡を作ろう		20人	20人	
3	バフバフホバークラフトを作ろう		20人	7人	3月25日
4	光スタンプを作ろう		20人	37人	3月26日
5	超軽量！ハングライダーを作ろう		20人	16人	3月27日
6	むかしのマイクを作ろう	20人	11人	3月28日	

ク 空飛ぶ工作教室

回	内 容	対 象	定 員	延べ人数	開催日
1	ソーラー飛行機等の製作	小学4年～中学生	10人	9人	7月28日
2			10人	10人	7月31日
3	パタパタ飛行機の製作		15人	10人	8月3日
4			15人	15人	8月5日

ケ 糸のこ体験工作

内 容	対 象	参加者数	開催日
キーホルダーの製作（全6回）	どなたでも	24人	1月23日 ～3月28日

(3) 野外活動

ア 自然観察会

回	内 容	対 象	定 員	延べ人数	開催日
1	大人のための自然観察会	大人	20人	7人	5月19日
1	子連れお散歩自然観察会	未就学児童と保護者	20人	14人	6月6日
2			20人	15人	9月12日

イ 自然体験学習

回	内 容	対 象	定 員	延べ人数	開催日
1	昆虫標本をつくろう	小学4年～中学生	20人	7人	8月10日, 11日

(4) 科学イベント

ア サタデーサイエンスひろば

毎週土曜日に、当日の来館者を対象としたサイエンスショーを開催。

内 容	対 象	参加者数	開催日
音の実験など13テーマ（全48回）	どなたでも	4,782人	毎週土曜日

イ 春・秋の科学館まつり

	内 容	対 象	参加者数	開催日
春	科学館クラブの参加者募集と科学館事業の紹介を目的に開催。	どなたでも	3,013人	4月29日
秋			8,463人	11月3日

ウ サイエンススタジオ

内 容	対 象	参加者数	開催日
GWサイエンススタジオ 「空気砲とシャボン玉であそぼう」	どなたでも	7,628人	5月3日～6日
ナイトサイエンス 「夜の実験タイム、星と夜景のひろば、夕暮れのプチ自然観察会、プラネタリウムヒーリング番組」		276人	8月14日～18日
秋のサイエンススタジオ 「サイパルゴムゴムの教室」		717人	9月21日～23日
冬のサイエンススタジオ 「サイパル冬グルメ」		211人	11月23日、24日
コロッ・クルのクリスマス		31人	12月22日
雪と氷のサイエンススタジオ		245人	2月11日
春のサイエンススタジオ 「サイパル立体の教室」		954人	3月21日～23日

エ 大人のためのホームサイエンス

回	内 容	対 象	参加者	開催日
1	アンモナイトキーホルダーをつくろう	大人	10人	9月20日
2	アクリル板の星座盤		9人	11月22日
3	網ほおずきを作ろう		12人	12月20日
4	キラキラボックスを作ろう		11人	12月20日

(5) 各種行事

ア 科学の夢の図画コンクール・上川地方青少年発明くふう作品展

内 容	参加者数	開催日
科学の夢の図画コンクール 旭川市内の小中学生を対象とした科学の夢を描いた図画作品のコンテスト（応募：小学生194人，中学生77人）	271人	8月20日 ～9月20日 (募集期間)
上川地方青少年発明くふう作品展 上川地方の小中学生を対象とした発明やくふうをこらした工作作品のコンテスト。（上川旭川創意工夫教育研究会，旭川発明協会との共催）	73人	9月20日 ～9月27日 (募集期間)
合同展示会・表彰式(表彰式は14日のみ)	1,916人	10月13日～14日

イ 宇宙の日作文絵画コンテスト

内 容	参加者数	募集期間
「宇宙の日」記念行事全国小・中学生作文絵画コンテスト 応募：作文（小学生1人，中学生0人），絵画（小学生82人，中学生41人）	124人	4月30日～ 7月31日

ウ 科学技術週間行事

内 容	対 象	参加者数	開催日
科学技術映像祭入選作品上映会 東京スカイツリー 世界一のひみつ	どなたでも	38人	6月9日
科学技術映像祭入選作品上映会 NHK スペシャル 大海原の決闘 クジラ対シャチ		38人	6月16日

5 天文普及事業

(1) 天文台事業

ア 天文台公開

期 間 等	平成25年4月～平成26年3月 (321日間開放)
参加者数	1 利用状況の天文台を参照
内 容	一般来館者に天文台を開放し、ドーム直径8メートルの大天文台では、口径65cmのカセグレン式反射望遠鏡で主に星の観測、ドーム直径5メートルの小天文台では、口径20cmの屈折望遠鏡で主に太陽の観測を行っている。
実施時間	午前9時30分～午後5時(晴天時は開館時間内常時開放) ※夜間開館延長日等の場合はその開館時間に合わせて開放。

イ 天体を見る会

期 間 等	平成25年4月～平成26年3月 (計19回実施)
参加者数	計861人
内 容	月、土星等の惑星その他の天体の様子を、実際に望遠鏡等を使用して観測するとともに、天文への理解を図る。
実施時間	4月～9月：19:30～20:30, 10月～12月：17:30～20:00 1月～3月：19:00～20:30 (※時間限定の天文現象など、テーマによって時間が異なる場合有り)

ウ 星の教室

内 容	対 象	参加者数	開催日
最新の天文学などについて、わかりやすく解説する(全6回)	どなたでも	148人	奇数月の主に最終日曜日

エ 親子天文博士

回	内 容	対 象	参加者数	開催日
1	親子で望遠鏡の使い方と観測方	小中学生と保護者	36人	6月15日
2	法を学ぶ		6人	9月14日

オ 夏・冬休み天文教室

	内 容	対 象	参加者数	開催日
夏	天体望遠鏡の製作とプラネタリ	小学4年～中学生	8人	8月2日
冬	ウム, 常設展示見学		10人	12月28日

カ 天体観測

内 容	回数	期 間
太陽黒点の観測	165回	4月～3月

(2) プラネタリウム事業

天文知識の啓蒙・普及を目的に、旭川の空に見える季節の星座を紹介する一般投影を中心に、学習番組投影、幼児番組投影、イベント的な特別投影等を展開している。

◎ プラネタリウム総観覧者数（※小人は幼児を含む）

単位：人

月/区分	個人					団体					人数 合計
	大人	高校生	小人	その他	小計	大人	高校生	小人	その他	小計	
4	2,323	27	2,058	144	4,552	0	154	30	149	333	4,885
5	2,753	31	2,229	235	5,248	35	213	1,168	357	1,773	7,021
6	1,382	42	1,063	145	2,632	133	192	1,299	380	2,004	4,636
7	2,208	43	1,992	256	4,499	78	0	1,393	369	1,840	6,339
8	5,233	113	5,102	446	10,894	92	1	1,080	476	1,649	12,543
9	2,427	36	1,860	223	4,546	81	0	1,440	615	2,136	6,682
10	1,769	32	1,537	172	3,510	81	141	899	340	1,461	4,971
11	2,212	25	1,712	152	4,101	66	0	357	137	560	4,661
12	1,186	22	874	142	2,224	0	0	497	51	548	2,772
1	1,224	37	932	125	2,318	0	0	196	67	263	2,581
2	880	29	464	99	1,472	0	96	124	40	260	1,732
3	1,829	74	1,498	161	3,562	84	0	60	127	271	3,833
年度計	25,426	511	21,321	2,300	49,558	650	797	8,543	3,108	13,098	62,656

※「その他」は観覧免除者（身体障害者・70歳以上・引率者・介護者・視察）

※「団体」は団体料金適用者

◎ プラネタリウム総観覧団体数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
団体数	9	46	55	64	59	69	54	19	14	8	7	14	418

ア 一般投影

日の入りから夜8時の空、日の出までの旭川の星空を中心に、約40分の星座解説を行う。担当者がそれぞれ番組を自作し、生解説による投影を行っている。

（投影番組）

番組タイトル	投影期間	テーマ	投影回数
こよみと12星座	(3月)～4月	黄道12星座、春分、秋分、カレンダー	80回
春の星座と土星の輪	5月～6月	春の星座と土星の輪	175回
天の川をたどって	7月～8月	七夕、天の川	188回
秋の月	9月～10月	中秋の名月、月について	184回
冬の星座と旅する星	11月～12月	エチオピア王家の神話、彗星	122回
冬の星物語	1月～2月	冬の一等星を持つ星座、神話	116回
太陽系と星の通り道	3月～(4月)	黄道12星座、惑星の通り道	69回
番組数	7番組	投影回数合計	934回

※（ ）内の月は別年度のため、投影回数には含まない。

(一般番組利用状況)

月	団体数	観覧者数	投影回数
4	5	2,178人	80回
5	20	3,252人	89回
6	23	2,008人	86回
7	19	2,245人	88回
8	27	5,029人	100回
9	19	2,584人	82回
10	38	2,897人	102回

月	団体数	観覧者数	投影回数
11	6	2,277人	61回
12	2	1,099人	61回
1	2	1,321人	62回
2	2	831人	54回
3	3	1,975人	69回
合計	166	27,696人	934回

※観覧者数・団体数はプラネタリウム総観覧者数を含む。

イ 特別投影

○学習番組投影 実施期間：通年

時間や天候など、制約が多い実天観測の代わりに、プラネタリウムで天体の動きを見せながら解説することで、天体に対する理解を促す。

(投影番組)

対象	番組内容	所要時間	投影回数
小学3年生	かげと太陽（太陽の1日の動きと影の出来方）	30分	4回
小学4年生	月と季節の星座（月の形と動き、季節の星座）	30～40分	19回
小学6年生	月と太陽（月の満ち欠け）	40分	11回
中学生	地球の動きと星の動き（自転・公転と天体の見かけの動き）	40～50分	7回
	太陽系と宇宙の構造（太陽系の惑星、銀河系など）	40～50分	3回

(学習番組利用状況)

単位：人

区分 月	観覧者数（人）						団体数						
	小学生			中学生		合計	小学生			中学生		合計	
	3年	4年	6年	「地球」	「宇宙」		3年	4年	6年	「地球」	「宇宙」		
4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	0	0	10	74	9	93	0	1	1	2	1	5	
6	81	183	219	0	122	605	1	5	5	0	2	13	
7	0	0	35	169	0	204	0	0	1	4	0	5	
8	0	281	68	0	0	349	0	4	1	0	0	5	
9	52	183	205	181	14	635	3	4	6	2	1	16	
10	0	91	45	72	0	208	0	2	1	2	0	5	
11	0	90	0	0	0	90	0	2	0	0	0	2	
12	0	191	7	0	0	198	0	2	1	0	0	3	
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	133	1,019	589	496	145	2,382	4	20	16	10	4	54	

※観覧者数・団体数はプラネタリウム総観覧者数を含む。

○幼児番組投影 実施期間：通年

幼稚園・保育所等の未就学児団体を主な対象に、物語を多く取り入れた20分前後の番組を独自に製作・投影している。

(投影番組)

番組タイトル	投影期間	テーマ
わんわんわん	4月1日～5月6日	冬から春の星座紹介, おおいぬ座, こいぬ座のお話
アポロンとからす	5月8日～6月30日	春の星座紹介, からす座の物語
たなばたさま	7月1日～8月7日	夏の星座紹介, 七夕伝説
かぐやひめ	8月8日～10月30日	秋の星座紹介, かぐやひめの物語
クリスマスの空	11月1日～12月25日	冬の星座紹介, クリスマスのお話
ふゆのせいざ	12月26日～2月27日	冬の星座紹介, エリダヌス座の物語
わんわんわん	3月1日～3月31日	冬から春の星座紹介, おおいぬ座, こいぬ座のお話

(幼児番組利用状況)

月	団体数	観覧者数	投影回数
4	3	1,630人	21回
5	4	1,815人	21回
6	10	1,085人	29回
7	34	2,715人	39回
8	24	4,731人	47回
9	20	2,170人	30回
10	11	1,611人	21回

月	団体数	観覧者数	投影回数
11	7	1,115人	22回
12	5	628人	22回
1	3	633人	22回
2	4	397人	22回
3	7	809人	27回
合計	132	19,339人	323回

※観覧者数・団体数はプラネタリウム総観覧者数に含む。

○特別番組投影

日頃、天体やプラネタリウムに興味のない人も楽しめるよう、天文以外の分野を取り入れた投影

(投影番組)

番組タイトル	内容	観覧者数	投影日
夏の星空コンサート ～星空鉄道～	夏の星座解説と「銀河鉄道の夜」をイメージしたCDコンサート	144人	7月6日
星空生演奏コンサート ～星に願いを込めて～	プラネタリウムの星空の下で行う、ピアノとフルートによる生演奏コンサート	144人	8月17日
秋の星空CDコンサート ～Happy Halloween Trick and Treat?!～	季節の星座とハロウィンをテーマにした内容のCDコンサート	158人	10月12日
クリスマス星空CDコンサート ～北央のお話☆クリスマスのお話～	季節の星座と北央とクリスマスのお話を紹介するCDコンサート	133人	12月14日
春の星空CDコンサート ～2014年 宇宙の旅～	季節の星座と宇宙空間を旅する内容のCDコンサート	136人	3月15日

○ドームシアター 実施期間：通年

デジタル映像投影装置を利用し，全天周映像を上映する。

(番組利用状況)

投影回数：298回

番組タイトル	内 容	観覧者数	団体数
宇宙大衝突 (COSMIC COLLISIONS)	9月30日まで。全天周デジタル映像，オート番組 宇宙で起きている星々の大衝突の謎に迫る	8,378人	50
ETERNAL RETURN -いのちを継ぐもの-	11月1日から。全天周デジタル映像，オート番組 宇宙の中で生まれるいのちの物語	3,632人	14

6 学校連携事業

(1) 科学館体験学習

科学館利用団体の要望に応じ、サイエンスショーや実験工作・電子工作・木工作や低温実験体験などのメニューを実施

期 間	通年（団体からの依頼があった都度開催）
利用団体数	延べ64団体（利用者数：2,138人）
テーマ	サイエンスショー・・・「超低温の実験」など 実験工作・・・「夜光スライムを作ろう」、「光スタンプを作ろう」など 電子工作・・・「ペットボトルキャンドルの製作」など 木工作・・・「糸のこ体験」 その他・・・低温実験室体験、「無限の箱を作ろう」など

(2) 巡回実験教室事業

ア 巡回実験教室

小学校などからの要望に応じて職員等が出向き、実験ショーや簡単な工作教室などを行う。

期 間	通年
利用団体数	延べ10団体（利用者数：323人）
テーマ	サイエンスショー・・・「超低温の実験」など 実験工作・・・「忍者スライムを作ろう」など

イ プラネタリウムの学校授業での活用

小中学校と連携し、プラネタリウムを活用した天文授業を開発・実施。

（参加者数は全てプラネタリウム観覧者数に含む）

利用学校名	参加者数	開催日
旭川市立神楽中学校 3 学年	139人	12月20日

ウ 総合学習関連事業

小・中学校の総合学習と関連した事業の開催

訪問先	テーマ	参加者数	開催日
旭川市立広陵中学校	総合的な学習の時間に講師を派遣	20人	1月22日

(3) 人材育成事業

ア 博物館実習の受入れ

博物館実習とは、学芸員の資格を得るために必要な博物館での実習です。博物館法施行規則第1条に基づいて行われます。平成20年度からは科学館と博物館の両施設で一体的に実施しています。

実習期間

平成25年8月22日(木)から8月28日(水)まで（7日間）

実習生（学校別人数）

合計 12人

北海道教育大学旭川校	5人	札幌大学	2人
苫小牧駒澤大学	1人	帯広畜産大学	1人
専修大学	1人	多摩美術大学	1人
日本大学	1人		

イ サイパル理科研修会

回	内 容	対 象	延べ人数	開催日
1	天文研修会, 地学実験	教員	15人	7月31日
2	岡田名誉館長防災教育授業		16人	10月4日
3	授業で使える実験実習		2人	10月20日
4	授業で使える実験実習(中止)		—	12月25日
5	授業で使える実験実習		6人	2月16日

7 共催事業

(1) みどりの回廊展(共催: あさひかわ自然共生ネットワーク)

内 容	参加者数	開催日
自然や環境に関する市民活動団体のパネル展示, 体験実習等	550人	6月22日, 23日

(3) 親子ミニマイコンカー教室(共催: 旭川工業高等学校)

内 容	参加者数	開催日
親子でミニマイコンカー製作と競技会	25人	10月19日, 20日

(4) お天気ひろば(共催: 旭川地方気象台)

内 容	参加者数	開催日
気象や防災に関するさまざまな実験・展示等を開催	1,500人	11月3日

(6) たのしい電子工作教室(共催: 旭川工業高等学校定時制)

内 容	参加者数	開催日
イライラ棒を作ろう	20人	1月10日

(7) 科学探検ひろば2014(共催: サイエンスボランティア旭川)

内 容	参加者数	開催日
サイエンスボランティア旭川を中心に地域の学校教諭や学生が科学屋台の出展など約50の催しを開催	5,623人	1月11日, 12日

8 その他科学館で開催された主な催事など

催事名	主催等	参加者数	開催日
くまげら会活動	女性木工サークル(31回実施)	261人	4月～3月
環境地図作品展	環境地図教育研究会	802人	10月26日, 27日
日専連版画コンクール	日専連旭川	963人	1月25日, 26日
健康日本21	旭川薬剤師会	200人	2月23日

9 情報提供活動

(1) レファレンスルームの開放

設置・使用目的：各科学分野に関する自習スペースとして開放するとともに、生物・地学分野の観察・実習活動の場として活用

備付け備品類：走査電子顕微鏡（係員が立会で使用）、双眼顕微鏡、インキュベーター、その他各種観察・実験器具

備付け資料など：科学関係図書・DVD・CD等、植物・昆虫・鉱物標本、動物・野鳥・昆虫・植物の写真ファイル、昆虫などの生体他
(備品・資料・家具類などは全て（社）旭川自動車学園からの寄贈による)

(2) 情報コーナーの運営

設置・使用目的：パソコンで様々な科学情報を検索・閲覧できるライブラリー機能のほか、科学館の施設・事業活動を紹介する

設備概要：パソコン端末5台、インターネット検索可能、液晶タッチパネルによる画面展開可能

(3) ホームページの運用

運用目的：科学館についての情報提供を広く行うとともに、市民や利用者とのコミュニケーション活動を推進するために活用する。

主な掲載内容：科学館案内や各種事業活動の内容、募集情報、ミュージアムショップの紹介、研究成果、最新科学情報・動向、サイエンスFAQなど。

10 広報活動

科学館及び博物館の周知、事業内容のPRと利用の促進を図るため、次の広報活動を実施した。

(1) 旭川市広報誌「あさひばし」への事業案内、利用案内等の掲載。

(2) 新聞・テレビ等報道機関その他媒体への情報提供、取材依頼。

(3) 科学館利用案内リーフレット、パンフレット等の配布。

(4) 特別展や各種事業のチラシを市内及び近郊の小中学校、公共施設等に配布。

(5) ホームページを通じて利用案内や事業情報等を発信。

(6) 科学館体験学習の手引きの作成。

(7) 「科学館報」、調査研究などの「研究報告」、旭川における1年間の天文情報をまとめた「天文略表」の発行、配布。

(8) 館内に科学館の事業活動を紹介する情報コーナーの設置。

Ⅲ サイエンスボランティア旭川の活動

サイエンスボランティア旭川は、旭川市科学館及び旭川市博物館の事業運営をサポートし、科学の普及活動を行う団体です。科学知識・技術の有無に関わらず、子供たちに科学のおもしろさや、科学を学ぶ楽しさを伝えたいという人たちが参加しています。

1 概 要

- ・団体名 サイエンスボランティア旭川
- ・代表者 鈴木 絃一（平成25年度）
- ・設立 平成16年5月15日
- ・登録会員数 162名（平成26年3月末日現在）
〔内訳〕 ・案内説明員，事務局員162名（うち特別学芸員84名）

〈お問合せ先〉 〒078-8391 旭川市宮前1条3丁目3番22号
旭川市科学館内 サイエンスボランティア旭川事務局
TEL 0166-31-3016 FAX 0166-31-3310
E-mail: kagakukan@city.asahikawa.hokkaido.jp
URL: http://asascience.blog.fc2.com/

2 平成25年度従事者数

月	案内説明員， 事務局員	特別学芸員	計	月	案内説明員， 事務局員	特別学芸員	計
4	169.5人	52.5人	222.0人	10	175.5人	47.0人	222.5人
5	180.0人	63.0人	243.0人	11	171.0人	62.5人	233.5人
6	190.0人	71.5人	261.5人	12	169.5人	52.5人	222.0人
7	219.0人	66.0人	285.0人	1	141.0人	52.5人	193.5人
8	273.5人	90.5人	364.0人	2	157.5人	49.5人	207.0人
9	208.5人	63.5人	272.0人	3	182.0人	67.0人	249.0人
				計	2,237.0人	738.0人	2,975.0人

※半日従事の場合は0.5人として積算

3 活動の内容

(1) 概要

科学館の運営・事業等の支援	発券機操作案内，常設展示機器運営サポート・展示案内・説明，プラネタリウム観客誘導・整理等，レファレンスルーム管理，「サイエンスボランティア旭川通信」発行など
自主事業の企画・実施	「科学探検ひろば2014」の実施，サイエンスワークショップ・スポット木工・サイパル工房・コーナーサイエンス開催，教育大学旭川校からの学生ボランティア12名受け入れなど ※科学探検ひろば2014はⅡ「平成25年度事業活動報告」参照
ミュージアムショップの運営	科学館1階ミュージアムショップの一部で科学関連商品を販売。取扱商品約150種程度

(2) 自主事業詳細

ア サイエンスワークショップ

簡単な科学実験や工作などのワークショップを小学生を対象に主に日曜日、館内の様々なスペースを活用して開催しています。

内 容	参加者数	開催日
ふきあげこいのぼり，母の日のすな絵，合体まわし絵，紙すきでハガキを作ろう，など	4,782人	主に毎日曜日 (合計53回)

イ 夏・冬休み自由研究サポート工作教室

回	内 容	対 象	定 員	延べ人数	開催日
1	箱カメラ	小学3年生以上	20人	12人	7月27日
2	植物図鑑		20人	7人	7月28日
3	アクリル星座盤		20人	14人	7月29日
4	標本箱		20人	11人	7月31日
5	照明付き星の星座		20人	10人	8月1日
6	アニメのふしぎ		20人	5人	8月3日
7	振動モーター飛行機		30人	35人	8月3日
8	かまきりのパフォーマンス		20人	10人	8月4日
9	モビール		20人	6人	8月5日
10	ミニオルゴールを作ろう		20人	20人	12月27日
11	びっくりミラーの製作		20人	20人	12月27日
12	アニメのふしぎ		10人	9人	12月27日
13	オリジナルすな絵		10人	10人	12月27日
14	じぇじぇじぇティッシュスタンド		18人	15人	12月28日
15	ミニミニプラネタリウムを作ろう		20人	19人	1月13日
16	分子模型を作ろう		14人	7人	1月13日
17	CD分光器の製作		30人	8人	1月13日

ウ スポット木工

事業名	内 容	参加者数	開催日
スポット木工	糸のこを使った動物などの簡単な切り抜き工作	478人	4月～3月 (12回実施)

エ おばあちゃんとお孫さんで作ろう

内 容	参加者数	開催日
まつかさのふくろう人形	7人	8月31日

オ サイパル工房

様々な世代の人々にもものづくりの楽しさを伝えるため、電子工作を中心に不定期に開催しています。

回	内 容	対 象	参加者数	開催日
1	簡単工作	どなたでも	15人	4月4日
2			14人	4月6日
3			33人	5月3日
4			32人	5月5日
5	ラインロボカー		14人	8月6日
6	簡単工作		19人	8月6日
7	ソーラーかざぐるま		10人	8月7日
8	緑道出前工房		44人	8月8日
9	デジタル時計		10人	8月10日
10	簡単工作		17人	9月10日
11	ミニあんどん		11人	9月14日
12	メロディーボックス		12人	11月24日
13	ラインロボカー, メカ・カメ		6人	1月15日
14	インテリアボックスの製作		4人	3月26日



科学探検ひろば2014



科学探検ひろば2014



サイエンスワークショップ



サイエンスワークショップ

IV 旭川市科学館利用案内（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

1 観覧料

中学生以下無料です。大人・高校生の方が博物館の常設展示，科学館の常設展示室・プラネタリウムを御覧になるときは，次の観覧料が必要になります。

博物館 常設展示室 (1日)	科学館		観覧料 (円)			
	常設展示室 (1日)	プラネタリウム (1回)	大人		高校生	
			個人	団体	個人	団体
●			300	240	200	160
	●		400	320	250	200
		●	300	240	200	160
●	●		500	400	300	240
	●	●	500	400	300	240
●		●	400	320	250	200
●	●	●	700	560	450	360

※団体料金は，同じ料金の方が20名以上の場合です。

※次に該当する方は，観覧料が免除となります。（受付にお申し出ください。）

- ① 旭川市内在住の満70歳以上の方（科学館は鷹栖，東神楽，当麻，比布，愛別，上川，東川，美瑛各町在住の満70歳以上の方も）
- ② 身体障害者手帳・療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方と介助者（介助対象者と同人数まで）
- ③ 介護保険法に定める要介護者の方と介助者（介助対象者と同人数まで）
- ④ 学校の児童生徒等を引率する教員又は一般団体引率者の方※旭川市，鷹栖，東神楽，当麻，比布，愛別，上川，東川，美瑛各町の高校に通学又は在住する高校生20名以上の団体は，科学館のみ観覧料を5割減額します。

次のパスポートをお買い求めいただいた方は，利用開始された日から1年間，対象施設を何度も御覧いただけます。

種類	対象施設	料金 (円/枚)	
		大人	高校生
博物館パスポート	博物館の常設展示	600	400
科学館パスポート	科学館の常設展示室とプラネタリウム	1,000	600
博物館・科学館 パスポート	博物館の常設展示 科学館の常設展示室とプラネタリウム	1,400	900
動物園・科学館 パスポート	旭山動物園 科学館の常設展示室とプラネタリウム	1,820	/

※上記パスポートは科学館の受付（動物園・科学館共通パスポートは旭山動物園のチケット販売所でも）又は市内公共施設の売店などでお買い求めいただけます。また，博物館の受付では博物館パスポートと博物館・科学館パスポートの2種類のみお買い求めいただけます。

なお，特別展につきましては，その都度教育委員会が定める額となります。

2 開館日等

(1)開館日数

平成26年度の開館日は318日、休館日は47日（うち、保守点検休館日は8日間）。

(2)休館日

毎週月曜日（当該日が祝日に当たるときは、その翌日）

年末年始（12月30日から翌年の1月4日）

上記を除く毎月末の平日（保守点検休館日、職員は勤務日となる）

(3)臨時開館日

前(2)に掲げる休館日のうち、6月から9月までの月曜日及び月末の平日（7月14日及び9月30日を除く）並びに12月26日、1月2日及び3月31日。

(4)開館時間

開館 午前9時30分

閉館 午後5時（ただし観覧のための入館は午後4時30分まで）

ただし、お盆時期を中心に5日間（平成26年度は8月13日～17日）は午後8時まで（入館は午後7時30分まで）延長したほか、必要なときは全部又は一部の開館時間を臨時に延長します。

(5)交通のご案内

バスを御利用の場合

J R 旭川駅前「10番のりば」から旭川電気軌道バス82番線「南高行」又は84番線「ひじり野1の1行」乗車、「科学館前」で下車します。

J Rを御利用の場合

J R 旭川駅から徒歩25分又は、J R 旭川四条駅から徒歩15分かかります。

高速道路を御利用の場合

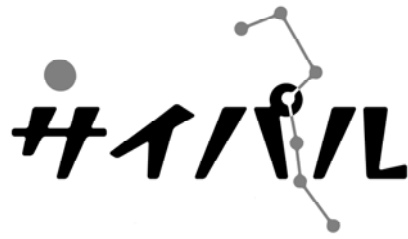
道央自動車道旭川鷹栖I.C.から25分又は、道央自動車道旭川北I.C.から車で約45分かかります。

飛行機を御利用の場合

旭川空港より車又は旭川電気軌道バス空港線「宮前通東」まで約40分かかります。

(6)周辺地図





旭川市科学館の愛称「サイバル」の由来

「サイバル」とはSCIENCE(科学)とPAL(仲間、友達)を組み合わせた言葉です。また、
いろんな科学の彩りに出会える絵の具を散りばめたサイエンスパレットの略です。
新しい科学館の建設地の北彩都(きたさいと)あさひかわの「彩」もイメージしてい
ます。科学に親しみ、科学を通して交流の輪が広がってほしい、そんな願いが込め
られています。



旭川市科学館・マスコットキャラクター 「コロツ・クル」

未来への進化をたどる、地球上初めての生命「単細胞」が集まる様子をモチーフに、
宇宙的な生物アメーバを表現。

その中に、古くから欧米では「学問の神様」として扱われ、またアイヌの人たちには
「森の守り神」として敬愛されたフクロウを組み合わせた架空のキャラクターです。

平成26(2014)年

旭川市科学館報 Vol.6

平成26年12月発行

発行者 旭川市科学館
旭川市科学館 〒078-8391 旭川市宮前1条3丁目3番32号
TEL 0166-31-3186 FAX 31-3310

ホームページ <http://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/files/kagakukan/>

メールアドレス kagakukan@city.asahikawa.hokkaido.jp
